

- 橋梁形式：3+7径間連続鋼箱桁橋+3径間連続鋼斜張橋
- 橋長：1,344m(鋼箱桁橋664m、鋼斜張橋680m)
- 最大支間長：360m(斜張橋部の主塔間の距離)
- 桁下高：約32m(海面から橋桁の下までの高さ)
- 車線数：2車線



気仙沼湾

至八戸

大島IC(仮称)

朝日埠頭

小々汐漁港



主な特徴

- 地元の声や有識者の知見をもとに計画を進めました。
- 東日本大震災クラスの地震や津波に負けない設計をしています。
- 大型の台風などへの安全性、耐風性を確保しています。
- 完成後の維持管理に配慮し、設計しています。
- 橋の形状や色彩は、景観との調和に配慮しています。



朝日埠頭から望む
(夜間ライトアップイメージ)

※本パンフレットに掲載したパースは、すべてイメージ図です。



橋面

斜張橋の橋長比較



東北最大

(仮称)気仙沼湾横断橋 橋長:680m



青森ベイブリッジ(青森県) 橋長:498m

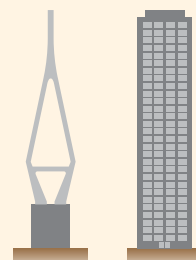


日本最大

多々羅大橋(広島県 愛媛県) 橋長:1,480m

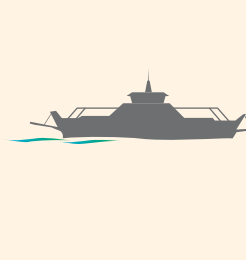
(仮称)気仙沼湾横断橋の規模

主塔高さ
115m(地上から)



ビル 30階分

本橋の鋼材の重さ
約8,300トン



大島汽船フェリー
約40隻分

橋台・橋脚の
コンクリート体積
約12,500m³



50mプール
11杯分

発注者(工事担当)

国土交通省 東北地方整備局
仙台河川国道事務所 気仙沼分室
〒988-0122
宮城県気仙沼市松崎五駄罾202-3
(花の道・けせんぬまパーキング内)
TEL 0226-24-3212
FAX 0226-24-3218



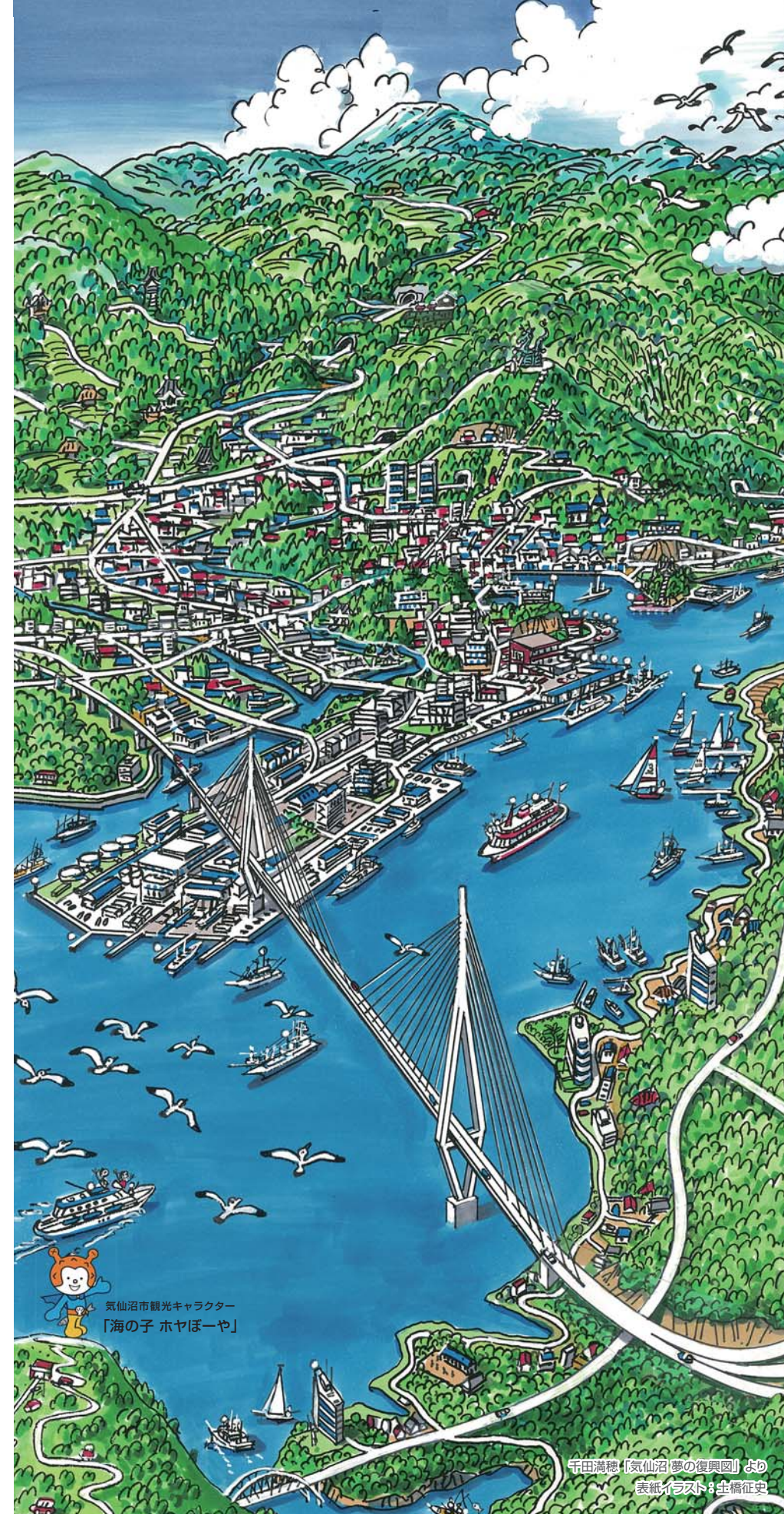
写真提供：小々汐打囃子保存会

施工者

■小々汐地区下部工工事
鹿島・東亜特定建設工事共同企業体
気仙沼湾横断橋小々汐JV工事事務所
〒988-0815
宮城県気仙沼市小々汐9-1
TEL 0226-25-5661
FAX 0226-24-3341

■松崎地区下部工工事
東亜・不動テトラ特定建設工事共同企業体
気仙沼湾横断橋作業所
〒988-0034
宮城県気仙沼市朝日町22-5
TEL 0226-25-7432
FAX 0226-25-7437

第2版 2017年6月



気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

千田満穂「気仙沼夢の復興図」より
表紙イラスト：全橋歴史

復興道路 国道45号 三陸沿岸道路 気仙沼道路

(仮称)気仙沼湾横断橋



朝日埠頭から望む

(仮称)気仙沼湾横断橋は、東日本大震災(2011.3.11)後に設計されており、東日本大震災規模の大きな地震や津波、大型の台風などにも耐えられるよう計画されているほか、完成後の維持管理のしやすさなどにも配慮されています。



大川付近から望む



国道45号

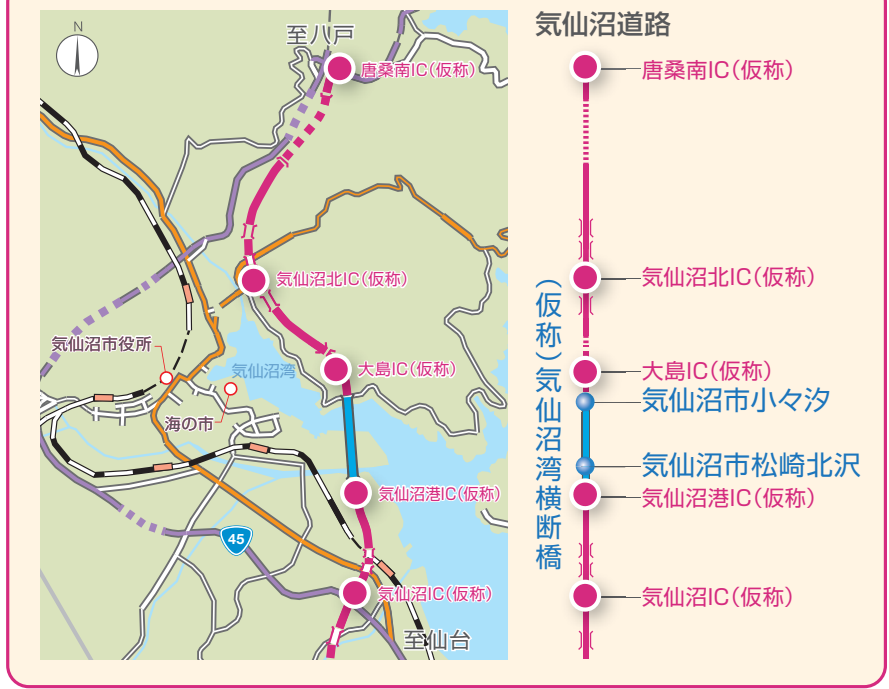
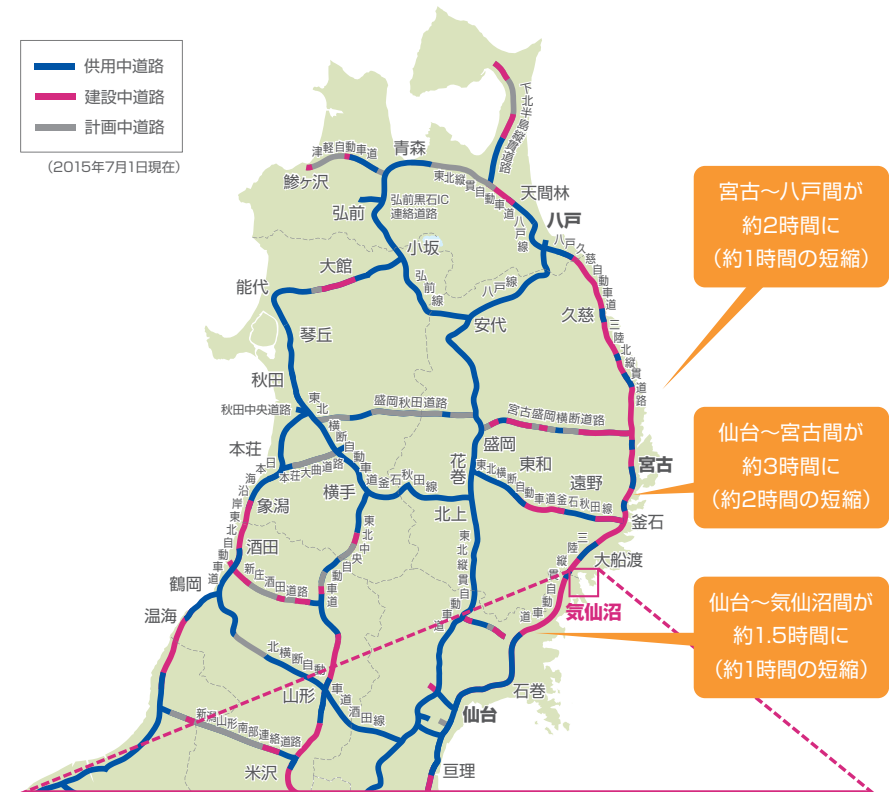
大川

気仙沼港IC(仮称)

(仮称)気仙沼湾横断橋

三陸沿岸道路

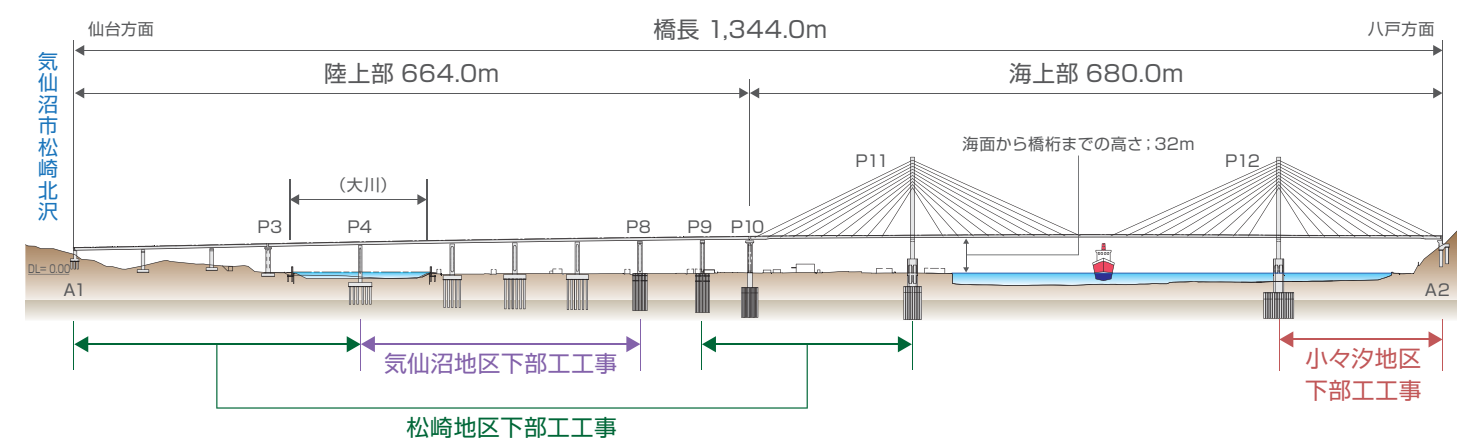
三陸沿岸道路は、仙台市から八戸市までを結ぶ延長359kmの自動車専用道路で、「復興道路」として位置づけられており、東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトです。
三陸沿岸道路の整備により、所要時間短縮のほか、救急医療施設への搬送時間短縮や災害時の緊急支援物資等の確実な輸送路確保などの整備効果が期待されます。



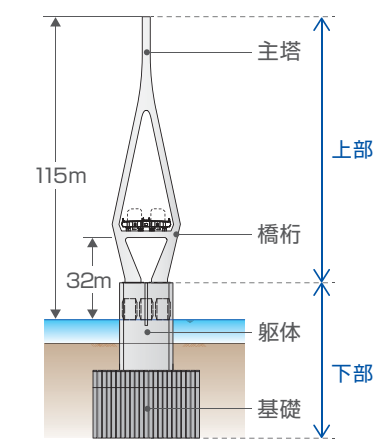
全体平面図



側面図



主塔断面図



工事概要

小々汐地区下部工工事

小々汐地区下部工工事は、気仙沼湾横断橋のうち、海上部に位置する橋脚1基と終点側の橋台1基を築造します。

- 工事場所** 宮城県気仙沼市小々汐地内
- 工期** ~2018年3月(予定)
- 工事内容** 橋脚(P12)1基 / 橋台(A2)1基

松崎地区下部工工事

松崎地区下部工工事は、気仙沼湾横断橋のうち、陸上部に位置する7基の橋脚と起点側の橋台1基を築造します。

- 工事場所** 宮城県気仙沼市松崎北沢~朝日町地内
- 工期** ~2018年3月(予定)
- 工事内容** 橋台(A1)1基 / 橋脚(P1~P4およびP9~P11)7基

気仙沼地区下部工工事

気仙沼地区下部工工事は、気仙沼湾横断橋のうち、大川部および陸上部に位置する4基の橋脚を築造します。

- 工事場所** 宮城県気仙沼市川口町地内
- 工期** 2017年3月完成
- 工事内容** 橋脚(P5~P8)4基

復興道路・復興支援道路の整備効果

走行時間が短縮されます

走行速度の向上や走行経路の短縮により、定時性の確保や走行経費の削減が図られ、信頼性の高い物流経路・生活基盤が確保されます。

水産物の輸送時間が短縮されます

三陸沿岸道路が整備され、首都圏への出荷経路が変わることで、移動時間が短縮されます。

三陸の観光振興に貢献します

復興道路・復興支援道路の整備によって、三陸の周遊ルートが形成され、三陸の観光振興に貢献します。



津波浸水区域を回避し、災害に強い道路ネットワークを形成します

三陸沿岸道路は、過去の津波を考慮して高台に計画しているため、ルートの95%が津波浸水区域を回避しています。供用済みの区間は、東日本大震災においても寸断されることなく、避難道路や緊急輸送路として利用され、「命の道」としての機能を発揮しました。

命の道・緊急輸送路を確保します

三陸道は震災時に命の道として、住民避難や緊急輸送路の機能を果たしました。三陸沿岸道路の整備で大規模災害時にも緊急輸送路を確保します。また、気仙沼道路ができることで石巻赤十字病院への搬送時間が約1時間に短縮されます。

気仙沼から石巻赤十字病院までの搬送時間が約1時間

